

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

## 『第17回ジャパンバードハウスコンテスト』作品募集

# JAPAN BIRD HOUSE

第17回ジャパンバードハウスコンテスト2025

作品募集

鳥の視点で環境を考える



鳥の気持ちでハウジング

ジャパンバードハウスコンテストは、遊び心を大切に、鳥の視点で都市の環境を考え、人と人、人と自然とのコミュニケーションづくりを目指します。

### 【募集内容】

オリジナリティあふれるユニークな作品

※デザインやアイデア、技術面などをトータルして審査

### 【賞の内容】

最優秀賞 1点 副賞(クオカード)1万円

優秀賞 一般の部、小学生の部でそれぞれ1点 副賞(クオカード)5,000円

特別賞 数点 副賞(クオカード)2,000円

応募用紙 ふかや緑の王国のほか、市役所本庁舎総合案内、公民館で配布。市ホームページからも入手できます

申し込み 6月2日(月)～9月30日(火)に、作品と応募用紙を直接または郵送でふかや緑の王国へ

※詳しくは上記の問い合わせ先へ

## ふかやオープンガーデン『ばらの庭・初夏の庭』

“一番きれいなバラを見ていただきたい”

今年も特別公開として、オープンガーデン『ばらの庭&初夏の庭』を39軒が公開します。バラが一番きれいに咲くこの時期に、ぜひご覧ください。

とき 5月3日(祝)・4日(祝)・10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日)午前9時～午後4時

問い合わせ 深谷オープンガーデン花仲間・栗原さん ☎090-7183-3481

※自家用車でお越しの際は、交通ルールを守り、他の見学者や車の通行、ご近所に迷惑が掛からないようお願いいたします。

※公開する庭は、花仲間のホームページ(右記QRコードからアクセス)をご覧ください。



▲内田庭



▲ほぶりん庭



## 『ふかや緑の王国園内ガイドツアー』参加者募集

ふかや緑の王国職員と一緒に園内を散策しませんか。参加者には、花の種と見頃の花々をモチーフにした『フラワーカード』をプレゼントします。

なお、園内ガイドツアーは、事前申し込み不要で、深谷市健康マイレージ事業『ためるんピックふかや』対象事業です。

とき 5月21日(水)・28日(水)午前9時～10時(小雨決行)

※原則毎月第1、第3水曜日に開催予定。市公式LINE(右記QRコードからアクセスして『深谷市』を友だち登録)で実施日時を配信しています

ところ 開始時間までにふかや緑の王国正門『園内見ごろ草花掲示板』前に集合



▲園内に咲くバラ『アンジェラ』



▲園内に咲くマロニエ



### お知らせ

今年の『ふかや緑の王国ホテル観賞会』は、成虫の十分な発生が期待できないことから中止します。



# 手話 de おはなし

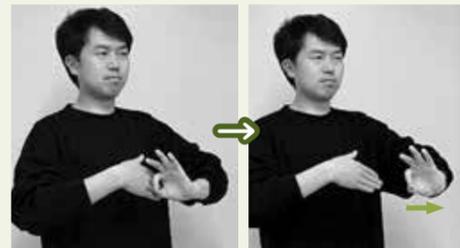


手話に興味はあるけど難しそう…そんなかたも、身近なところからチャレンジしてみよう!

(手話協力 深谷市聴覚障害福祉協会)



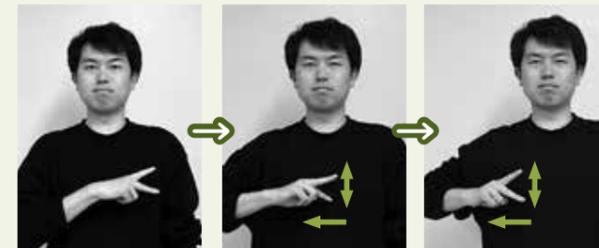
## 卓球



右手の甲で、左手の人さし指と親指で作った輪(球)を打ち、左手を前へ出す。



## 水泳



右手の手のひら側を下にして、右手の人さし指と中指を伸ばし、交互に上下させながら右へ移動する。

図障害福祉課 ☎571-1011・FAX 574-6667



青洲遺薫  
栄一の小話

### 栄一に論語を教えた尾高惇忠

「私は論語で一生を費やしてみせる。」と、実業の世界に身を転じた渋沢栄一は、『論語と算盤』を信条に、日本経済の近代化にまい進します。起業により、産業を広める栄一の志の原点には、『学』の力がありました。

栄一にとつての学問は、農家であつても学問の大切さを説いた父市郎右衛門の導きから始まります。最初は、父から『論語』の第一章まで教えられ、7歳ころから、父の勧めでこの尾高惇忠の下で、『論語』をはじめ、多くの漢籍(漢文の書物)などに親しみ、学問の楽しさを知っていきます。惇忠の教え方は実にユニークで、「好きな本を好きなだけ読む

がよい、意味は後からついてくる。」と、まずは、こともの好奇心を深め、分からない言葉や文章でつまずいたら、丁寧に教授するといふものでした。つまり、惇忠は、栄一に読破する楽しみを体験させることで、継続的に学び、知識を高めるとともに、学問の神髄を教えたのです。

栄一は、12歳の時に歩きながら本を読んでいて溝に落ち、晴れ着を汚して母親から叱られたというエピソードがあるほどの読書好きでした。惇忠の教えにより、分からないことを調べて理解することが苦ではなかったことは、後に実業家になって多くの会社づくりを行う際に、栄一の助けとなりました。このように惇忠は、栄一の生涯に大きな影響を与えた人物でした。栄一は、惇忠亡き後も、宇野哲人を自宅に招いて論語講読会を行ったり、二松学舎を創立した三島毅(号:中洲)と論語を学び続けたりしました。

栄一にとつて『論語』は、生涯学習のものだったのかもしれない。



▲尾高惇忠生家